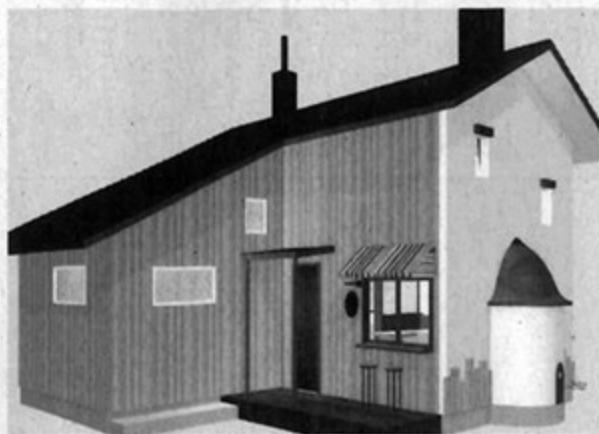


建設・行政

きたもつが4月に新施設

「石窯コテージMUG」



「石窯コテージMUG」の外観パース図

県内2カ所
重点3道の駅候補に
国土交通省関東地方整
備局はこのほど、重点道

なムーブメントとなつて
いる「薪火食文化」が体
験できる。

石窯はフランス産の最
高級石窯を、増田棟瓦(前
橋市石倉町、増田晋一社
長)とのコラボレーショ
ンで設置。吹き抜けのダ
イニングの中央にある石
窯では、ピザやパン、ロ
ーストビーフ、チキン、
グラタンなどのオーブン
料理、焼き魚などのグリ
ル料理、ベイクドチーズ
ケーキ、アップルパイな
どの焼き菓子も調理可能。
石窯調理用の食材セット
を用意する予定。既存の
食材セットも利用可能で、
食材の持ち込みもできる。

指しさまざまな事業に取
り組んでいる。
新たにオープン予定の
コテージは「石窯コテー
ジMUG」で、コテー
ジ内に石窯があり世界的

きたもつはこのほ
ど、スコラ・コンサルト
(東京都品川区、辰巳和
正社長)と「TAKI
VIVA」事業において業
務提携を締結した。
スコラ・コンサルトは
組織のパフォーマンスに
影響を及ぼす組織の風土
・体質に着目し、「プロ
セス型」のコンサルティ
ングを行っている。「風

企業研修サービス 「タキビバ」創設

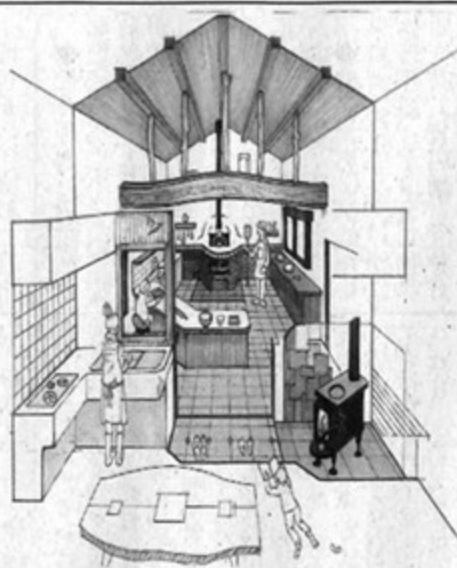
土リスク」のメカニズム
を熟知し、組織を創造的
な体質へと変革すること
で企業価値を高めるサポ
ートをしている。

今回の業務提携は、今
年9月に北軽井沢で開
業する「焚火(たきび)
」を中心にした企業研修事
業「TAKI VIVA
(タキビバ)」で、新しい
形の企業研修サービスを

駅「みなかみ水紀行館」
と「道の駅(仮称)ま
えばし」を選定した。
国土交通省は、関係機

ズンにより異なる)。

同社は「浅間高原エリ
アは、エネルギー革命前
までは首都圏へ薪・炭を
送り出した一大エネルギー
生産地だった。アウト
ドア体験のニーズや、世
界的なムーブメントとな
っている薪火食文化な
ど、他と差別化できる価



奥の大きな石窯ではピザやローストビーフが調理できる

値が存在する。新コテー
ジのコンセプトである、
薪火を使った「ハレの日」
の過ごし方を通して、山
との豊かな関係を構築し
たいと考えている」とし
ている。

同社では今後、薪火グ
リルの暖炉を備えた、2
家族や3世代での利用が
可能な大人数向けコテー
ジ「薪火グリのコテー
ジGOURMAND」の
開設も計画している。

開と連携して、地元産
の核となる特に優れた企
画を選定し、重点的に応
援する重点「道の駅」の
取り組みを14年度から実

提供するもの。きたもつ
が運営するキャンプ場
「スウィートグラス」で
培った場づくりの思想と
スコラ・コンサルトの累
計15万回以上実施したオ
フサイトミーティングの
ノウハウを融合し、「本
音で話したくなる」場を
両社で実現する。

両社は「火を中心に語
り合う濃密なコミュニケ
ーションによって、集団
はより深く広く連携し、
社会性がはぐくまれ、相
手と向き合うのではなく、
火を真ん中に相手と同
じ方向を見ることによ
って関係性が劇的に変化
する。これが、本音で話
そうと思える環境の核に
なる要素。本音で話すこ
とができれば、会社の未
来、社会の未来を仲間と
共に変えられるという確
信をもつことができる」と
している。